



- 若年性軽度認知症・高次脳機能障害デイケア
(介護保険非適用)
- 地域学童保育
- ケアマネジメントセンター
- 土曜日プログラム
- ソーシャルスキルトレーニング
- ペアレントトレーニング
- 認知症介護相談事業(カフェ事業)

まどか * 円 * えん * 縁 * えにし * 縁 * えん * 円 * まどか

< 総会報告 >

平成26年5月24日 土曜日。定例の社員(会員)総会を行いました。
まどかの会員さんは、社会的にもご活躍なさっておられる方ばかり。皆さん忙しく、なかなか会場までお越しいただけませんが、正会員数45名のところ、出席及び委任状を頂いた方が25名で、充分定足数を超え、総会が成立しました。
忙しくても、関心を持って頂いているのは、ありがたいことです。

平成25年度決算

収入	7,962千円
支出	8,575千円
当期収支	613千円

平成26年度予算

収入	7,077千円
支出	6,073千円
当期収支	1,004千円



理事及び監事の改選

任期満了に伴い、改選を行いました。
監事2名に変更はなく、理事1名が退任し、新たに1名が就任しました。
理事の総数は今まで通り7名で、任期は2年です。
どうぞよろしくお願いたします。

特別寄稿 まどか理事の椎名清和氏から特別寄稿を頂きました

(第十一号に引き続き、後半を掲載します)

医療と福祉と教育のちがい』から(2) つくば国際大学 准教授 椎名清和

現代社会において重視されることの多い価値観のひとつに「効率」があります。そうした視点からのみ見れば、各NPOの悪戦苦闘は一見無駄に見える行為かもしれません。けれども、一見無駄に見えることと無駄なことには明らかな違いがあります。それは「事前に考える」ことの有無です。考えることをしなければ、経験は経験でしかありません。それに対して、考えることをすれば、経験を経験値に変えることができます。明らかな変化が目には見えなくとも、力は確実に蓄えられていくと思います。

障害のある子の療育にあたっては事情は同じでしょう。既存の枠組み(「こうなってほしい」という思いも含めて)にとらわれることなく、ゼロベースで望ましいあり方を考え、それを言語化すること、感じたことを自分にとって都合よく解釈してしまわないように、きちんと書いて残すこと、考えることをいとわないこと。「考えることが楽しい」と思えるような環境に身をおくことができれば、いろいろな物事がうまく回り始めるでしょうね。

自分自身が支えられる環境のなかであってこそ、継続的に誰かを支えることもできるのではないのでしょうか。環境が少しばかり悪いとき、無意識のうちに自分を変える(補正する)ことで人間は一見適応したような状態にはなれます。ただし、環境の問題は環境を変えることで改善するのが基本だと思います。環境に適応するために自分を変えていくことも必要なことではあるでしょうが、あまりに行き過ぎれば、本来の自分自身を見失うことにもなりかねません。

日本が、同質性(平等)にばかり着目するのではなく、併存性(対等)を強調できるような社会になるためには何が必要なのか、そうしたことを考えていきたいと思っています。

まどか土曜日プログラム 26年度の予定



毎回好評の土曜日プログラム。26年度も下記の通り元気に実施します。

8月	まどか科学教室	アロマとマッサージ。まどかサロンですよ～！ 手軽なお菓子作りに挑戦。
9月	須崎先生のアロマ	
10月	松本先生のプログラム	
11月	武藤先生のSST 藤沼先生のPT	今年もやります。5回目。名人達人技！ ?をお届け。簡単すぎても満足感120%
12月	久松さんのそば打ち教室	
1月	武藤先生のカラーセラピー	
2月	菊池先生のバレンタインスイーツ	
3月	須崎先生のアロマ化粧品	

ボランティア

まどかでは、いっしょに活動していただけるボランティアを常時募集しています。
ともに地域福祉を拡げていきませんか？
特に、小学校低学年に「英語」や「習字」を指導して頂ける方、お待ちしております。



お問い合わせは



ホームページで！！



若年性認知症相談 & 認知症カフェ事業

若年性認知症ケア事業・認知症カフェ事業・認知症介護相談事業



若年性認知症のため、自宅にこもりがちの方。既存の高齢者施設には抵抗感がある方。一度ご相談ください。

認知症は、「プログラム」での予防は限定的です。最後はやはり人と人との関係性です。いつも「ハレ」の日として過ごしては、心身共にくたびれてしまいますね。

いつも自宅で過ごしているように自然に振る舞える環境を、私たちは目指しています。サービスを利用すれば劇的に変化して、人生がバラ色になるなどということはありません。本人とじっくり向き合い、お互いの関係性を築いた中から、少しずつでも前進することが可能だと考えています。お困りの方は、ともかくご相談ください。

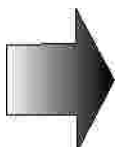
また、認知症介護家族支援事業では、在宅で介護されているご家族とともに来所頂いて、ともに見守ったり、好きな作業を行ったりして時間を過ごします。

どちらも、詳しいことは電話、ファックス、メールでお問い合わせ頂くか、ホームページでご確認ください。

お問い合わせ、お申し込みは、電話 029 - 867 - 6117 もしくは下記番号まで。



こちらも
ご注目！



認知症介護家族相談支援事業を行っています！！
悩みや負担感を遠慮なくお聞かせください。

専用電話 029-867-5233

家族介護者支援事業は、平成26年度茨城県自殺防止対策モデル事業に採択されました。

居宅生活支援事業も行っています・・・対象とする利用者の自宅を訪問しての支援です

軽度認知症の方のご自宅に訪問し、話し相手・散歩・病院の付き添いなど、いわゆる家事援助以外の支援を行い、利用者の「出不精」を緩和し、他人との交流のきっかけ作りを行います。内容によって利用料が異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

学童保育部門 26年度の状況

今年もまどかに新しい子ども達が加入してきました。新一年生もいれば、保護者さんのニーズにより、新しく利用することになった上級生まで。

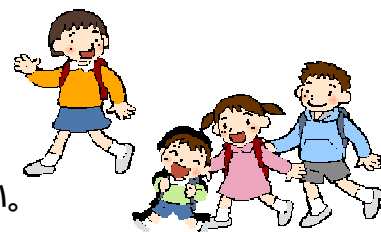
様々な生活環境の変化に、臨機応変に対応できるのも、行政には真似のできない、まどかならではのフットワークの良さと言えます。

学校で顔は見知っていても、それとは全然違う空間での子どもなりの人間関係構築術と順応性には、学ぶものがありますね。

4月に小学生になったばかりの一年生達も、日増しに大人びて、自己主張や社会性を身につけて来ています。夏休みが終わるころには、人として一層たくましくなることでしょう。

就学後の特別支援学童保育も可能です

あらゆるニーズにお応えするのがまどかのコンセプト！
制度で対応できない発達期の支援についてもお気軽にご相談ください。



ケアマネジメントセンター

専用電話 090-2228-6117

介護保険サービスを利用されたい方に、ケアプラン作成及びサービス事業所との連絡調整を行います。

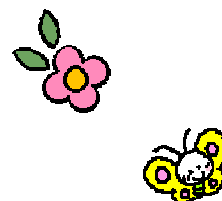
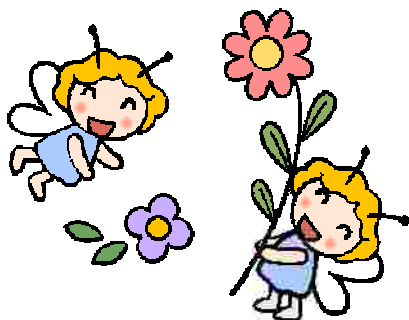
医療・福祉制度に関する相談をお受けし、利用可能な制度のご紹介や連絡調整を行います。

障害者自立支援制度
精神保健・こころの相談

児童福祉・母子福祉・子育て支援・奨学金制度
認知症高齢者在宅介護相談

失業・生活資金・住居等に関する相談をお受けし、関係機関のご紹介や連絡調整を行います

- ⇒ ハローワーク等雇用に関する制度
- ⇒ 生活保護
- ⇒ 公営住宅
- ⇒ 勤労者融資制度等
- ⇒ 多重債務・虐待・成年後見・DV



まどかサポーターのご案内



まどかのサポーター会員の方を募集しています。社会にある、福祉問題に関心がある方、活動に賛同して頂ける方は、是非仲間に加わってください。小さな地域の輪が、いずれ大きな運動につながることを確信して・・・継続が力です。

正会員・・・年一回の総会で表決権一票を持ちます・・・年会費 5千円
準会員・・・総会にて意見を申述できますが表決権は持ちません・・・年会費 3千円

(26年 7月 1日現在 正会員 45名 準会員 24名)

会員特典！ 茨城県の観光名所、袋田の滝の入口、目の前にある『菊池みやげ店』さんのご協力で、会員証ご提示の方に、飲食時に特別サービス品をご提供頂けます。飲食しない方にも、おみやげ購入時にサービス品の提供が受けられます。奥久慈に行かれた際は、是非お立ち寄りください。



児童用図書やコミック・ゲーム・消耗品等のご寄付のお願い

ご家庭に眠っている、貴重な宝物を、まどかで是非活用させて下さい！皆さんの善意で成り立っているまどか、何でも構わないので、心当たりがあったらご連絡ください。

特に、まどかで最近流行のカードゲームやボードゲーム。(トランプとかUNOとか)あと、昔懐かしいけん玉とか木製の独楽とか。扱いが雑だから、すぐに傷んでしまいます。発掘品があったら、何でも送ってください。よろしくお願い致します。

*** ゆめのあとさき ~編集後記~ ***



今年も暑い夏がやってきました。年々暑さがこたえる身になってきています。周りはどんどん変化しているのに、自分だけは退化していて、取り残されているようです。それでも時代の変化を傍観してしまうのは、感動する力がなくなったのでしょうか、それともあまりにバカバカしくて、思考がしらけきっているからでしょうか。温故知新。歴史に学ばない人間は、新しいことは創造できません。最近の歩みは、決して新しいことではないと思うのは、たぶん私だけでしょう。熱中症にお気をつけください。



文責 理事長 渡辺隆生 (つくば国際大学講師 社会福祉士)



特定非営利活動法人 まちなか交友館 まどか

〒300-4231 茨城県つくば市北条51-1
電話 029-867-6117 FAX 029-867-6118
ホームページ <http://www.machinakamadoca.org>
利用条件等はホームページでご確認ください